

病院年報

Vol. 31 令和2年度

静岡市立静岡病院

静岡市立静岡病院の基本理念・基本方針

【基本理念】

開かれた病院として、市民に温かく、質の高い医療を提供し、福祉の増進を図ります。

【基本方針】

- (1) 患者さんを主体とし、患者さんにとって最善の全人的医療を実践します。
- (2) 静岡市の基幹病院として、高度専門医療を提供し、その向上を常に図ります。
- (3) 市民の安全を守るため、二次救急医療、救命救急医療、災害時医療を提供します。
- (4) 地域医療の充実のため、病診連携、病病連携、保健福祉機関との連携を図ります。
- (5) 職員は、研修、研究、教育を通じて医療水準の向上を図ります。

令和2年度静岡市立静岡病院年報（Vol.31）刊行にあたって

地方独立行政法人静岡市立静岡病院 理事長

宮下 正



2020年4月1日からスタートした令和2年度は、法人第2期2年目であるが、平常とは大きく異なる年になった。すなわち、2019年12月に中国武漢に発した新型コロナウイルス感染症COVID-19がパンデミックとなって世界中を覆い尽くした結果、医療は言うに及ばず社会経済的にも近年類を見ない被害をもたらした。第1種感染症指定医療機関である当院は、国内におけるCOVID-19発生当初から、積極的に患者を受け入れ、特に重症者の治療の最後の砦とも言えるべきECMOについては県内でほとんど当院が担っているという状態であった。心循環器系診療における技術の蓄積がECMOに生かされたということができる。COVID-19の診療に直接関与する職員の皆さんはもちろんのこと、間接部門を含め、あらゆる職種の皆さんに深く感謝する次第である。

残念なことに、この感染症との戦いは今なお現在進行形であって、2021年の半ばが過ぎてもなお第5波がささやかれる状態のまま、水害の季節を迎えオリンピックに突入しようとしている。この感染症にまつわるもろもろの出来事については百家争鳴状態であって、容易にだれが正しいとは言えない。声高に叫ぶ人も、しばらく経てば、的はずれであったということが度々起こる。よくよく考えた上で発言しなければならないと思う。マスク生活2年目を迎えたが、当初専門家こそがマスクにエビデンスがないと言い、大衆はマスクをしていた方が安心と感じていたが、結果的に専門家よりも大衆の直感の方が正しかった。少なくともCOVID-19に関しては、全員がマスクを着ける、ユニバーサルマスクという考え方により、感染の広がりが抑えられることが明らかになり、マスク嫌いの国々でもそれに従うようになった。エビデンスという言葉にはくれぐれも注意しなければならない。予防法として古典的手法の域を超えるには、変異株の出現という課題を乗り越え、有効なワクチンの開発と普及・供給、さらには治療薬の開発に全精力を注ぐ以外にない。当院も先頭に立ってワクチン接種業務に協力している。

病気は、COVID-19だけではない。一般的な病気に対する、いわゆる平時の診療の手控えや停滞が続くようなことがあってはならないので、この面についても、つねに意を用いて高いレベルを維持できるようにしたいと考えている。

令和2年度静岡市立静岡病院年報（Vol.31）刊行にあたって

静岡市立静岡病院 病院長

小野寺 知哉



今年度は、新型コロナウイルス感染症対応に追われた。当院は新型コロナウイルスの重症者を受け入れる病院として、また、静岡県中部で唯一ECMOを行う能力のある病院として新型コロナウイルスから逃げない姿勢を示した。ただ、感染症患者診療には多数のスタッフを必要とするため、西8階病棟を閉鎖せざるを得なかった。それに加え、重症者を診るためにGHCUを新型コロナウイルス専用病棟としたため、一般患者の病床の逼迫を来した。当院職員に新型コロナウイルス感染症の陽性者は出たが、院内クラスターは発生しなかった。運が良かったとも言えるが、当院職員の感染予防の能力に負うところも大きい。感染症病棟の看護師、感染管理室、主治医となってくれた内科系の診療科医師、に特に感謝する。

令和3年3月からは当院職員への新型コロナワクチン接種が行われ、院内クラスター発生のリスクは下がった。新型コロナワクチンはやっと国が必要数を確保できたようで、静岡市にも配布されてきた。国民にある程度接種が行きわたるのは秋になると思われるが、ワクチンの有効性に期待しており、当院もワクチン接種への協力を行っていく。

コロナによる救急、外来、入院の減少は約10%となった。人件費はかえって増えており、毎月1億程度の減収となった。今年度は新型コロナ病床確保支援の補助金（休床補償金）が出ることで、赤字とはならなかったが、令和3年度の補助金については未定であり、経営への影響が懸念される。

昨年と同様、病院長として、院内各科スタッフに科の展望、病院への要望を聞いたが、各科とも診療の充実、拡大への意欲、病院への協力を表してくれた。各科別の原価計算も行ったが、外来は診療科全科で大赤字であった。再診患者を逆紹介して、外来を身軽にし、開業医の先生との顔の見える関係を深め、紹介患者を増やしていく。経営努力の中で、スタッフと機器を増やし、充実した医療を目指す。

当院は、高度専門医療、救急医療を行う、患者さんにもスタッフにも優しい病院として努力を続けていきます。今後とも院内外の皆様の当院へのご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

〈目 次〉

令和2年度静岡市立静岡病院年報(Vol.31)刊行にあたって

①クリニカルインディケーター

②EzE2ネットの静岡病院における運用実績

病 院 概 要

現況	1
組織図	2
職員配置	3
病院日誌	5

管 理 業 務

総務課	11
総務・企画係	11
経理係	12
情報係	15
人事課	16
人事・厚生係	16
給与係	16
施設課	17
施設係	17
物品係	19
病院運営機関・各種業務委員会	20

診 療 業 務

診療科の現況	55
部門別概況	88
医事統計	162

教育研究実績

学術業績	173
著書	173
論文・紙上発表	173
演題発表	177
講師（講演会、研修会など）	183
座長・司会	186
放射線技術科研修会	187
検査技術科研修会	187
研究会	188

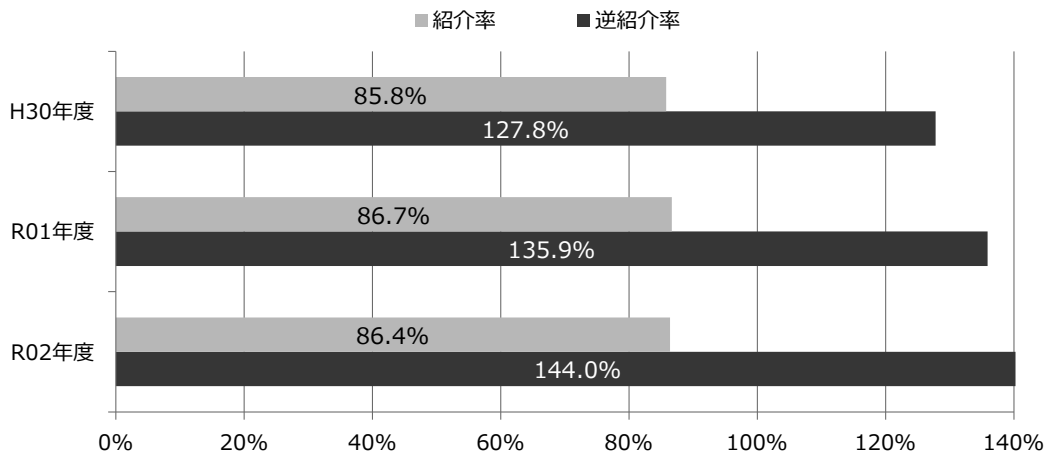
院内教育行事	189
救急セミナー（救急外来ただいま診断中 in 静岡）	189
静岡市立静岡病院 学術発表会	189
薬々連携アドヒアランス研究会	190

さまざまな活動

病院厚生会	191
静病あい会だより	191
患者友の会の活動	191

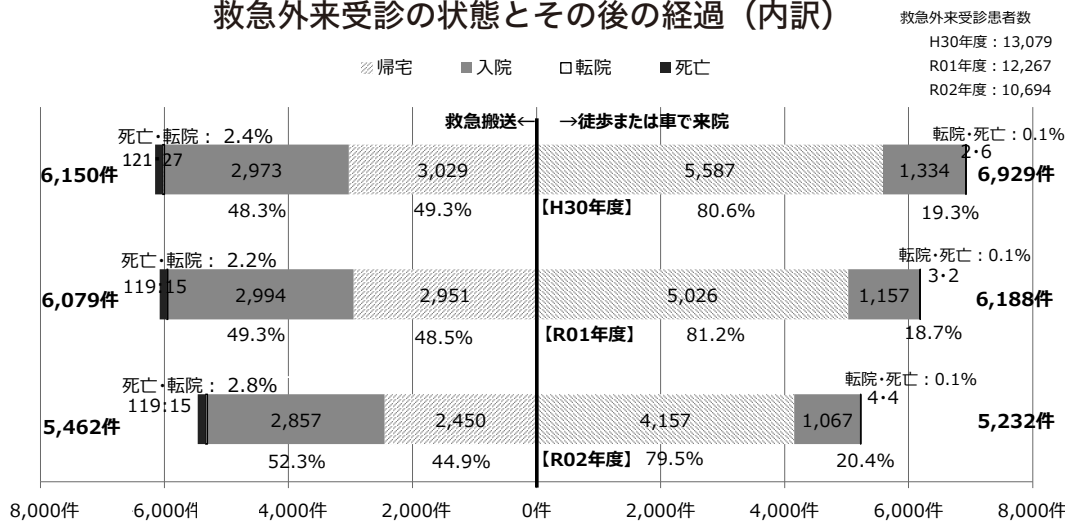
①クリニカルインディケーター

紹介率・逆紹介率（地域医療支援病院）

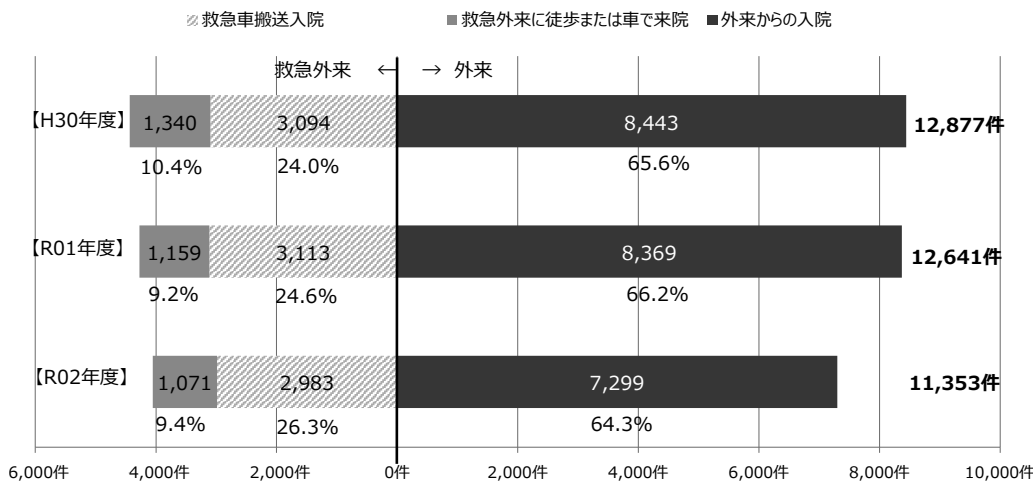


※平成26年 4 月 1 日付の地域医療支援病院承認要件の変更に基づく定義による

救急外来受診の状態とその後の経過（内訳）



入院となった経緯



※ 以下の指標は入院患者について

臨床指標算出方法

[計測期間]

H30年度：平成30年4月1日～平成31年3月31日の退院症例

R01年度：平成31年4月1日～令和2年3月31日の退院症例

R02年度：令和2年4月1日～令和3年3月31日の退院症例

[使用データ]

・DPC 様式1

医科レセプトに出力されない自費診療、または歯科（口腔外科など）の患者を除く

・MDV社 DPC分析ソフト「EVE」

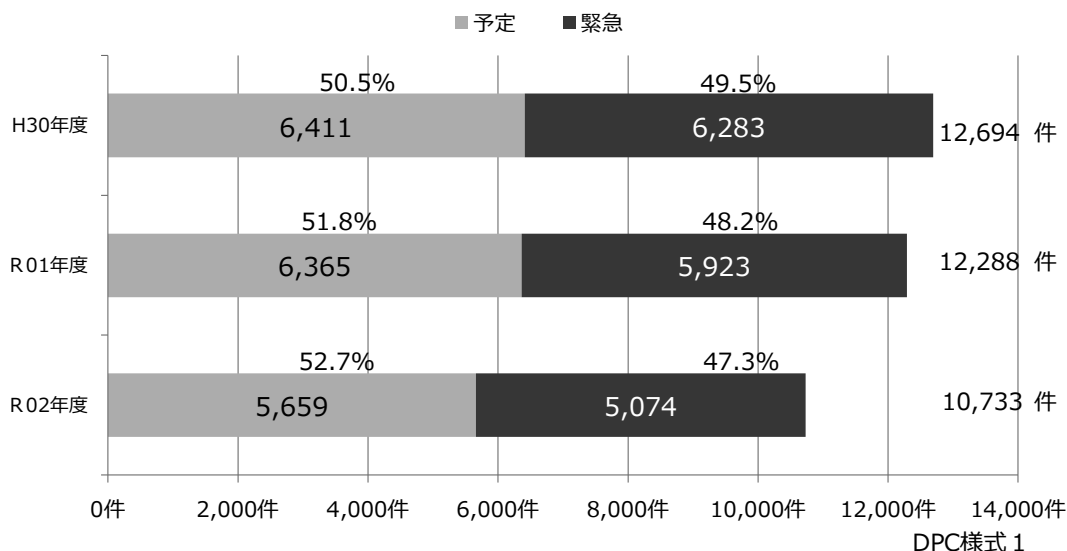
[但し、以下の1, 2を除く]

1. 自動車賠償責任保険や労災保険、自費等の患者

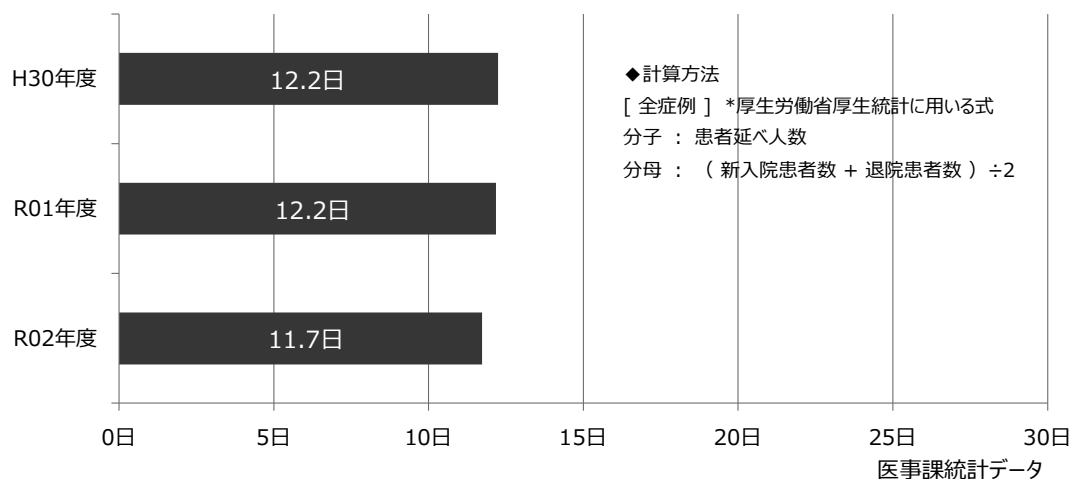
2. 一般病棟を一度も使用しなかった患者

・医事課統計データ

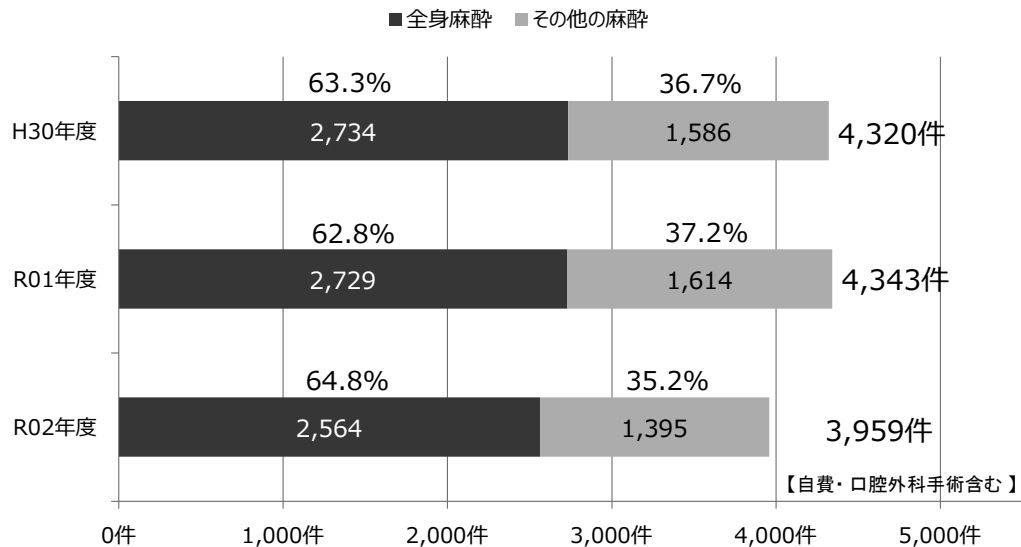
予定・緊急入院割合



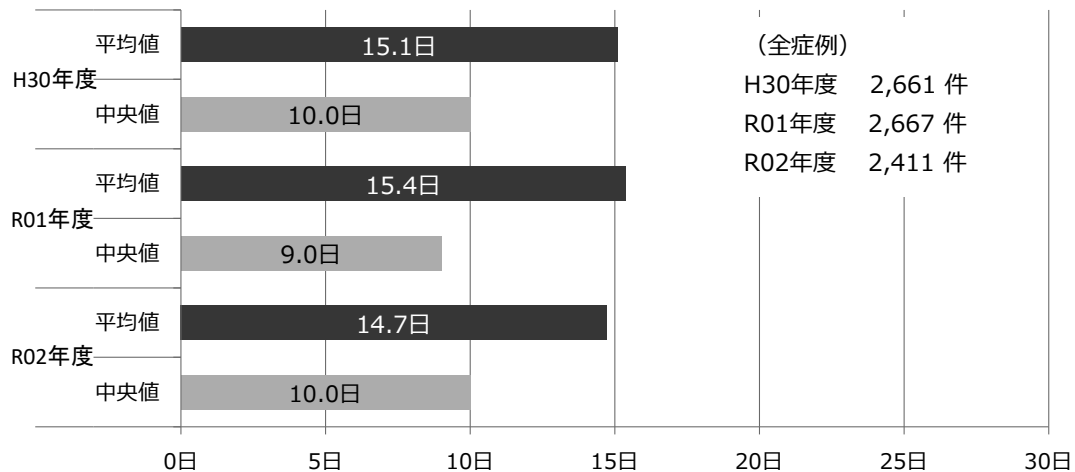
平均在院日数



手術室における全身麻酔下手術実施率



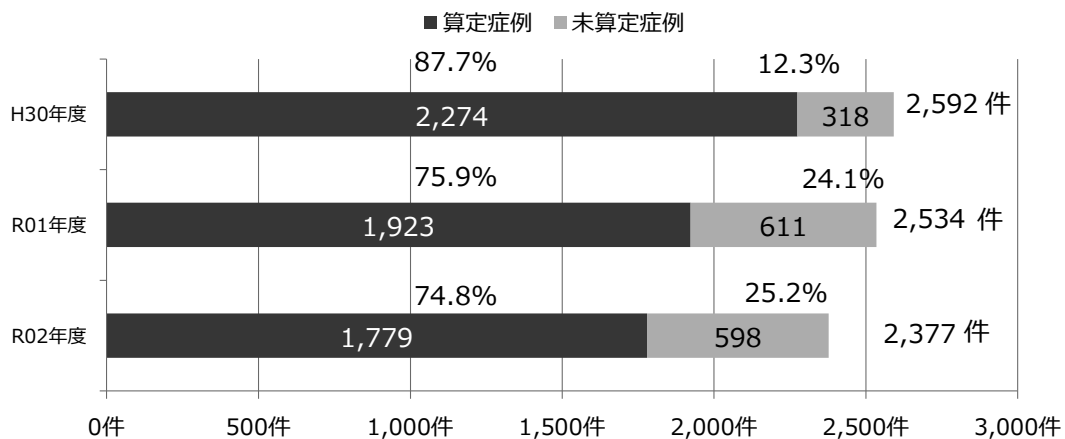
全身麻酔下手術症例の平均在院日数



※ 1入院中で全身麻酔手術が実施された患者の平均在院日数（同一入院期間中に複数回の手術を受けても1カウントとする）

DPC様式 1

全身麻酔手術症例に対する肺血栓塞栓症予防管理料算定症例の比率



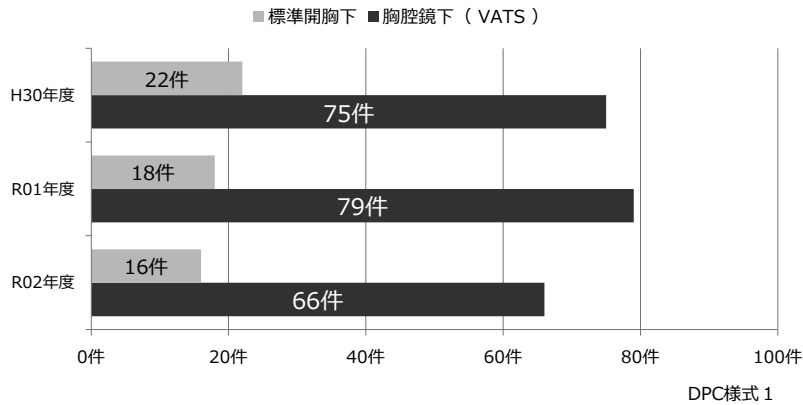
D P C 分析ソフト「E V E」臨床指標

◆ 計算方法

分子：肺血栓塞栓症予防管理料算定症例数

分母：全身麻酔実施症例数（15歳未満の症例を除く）

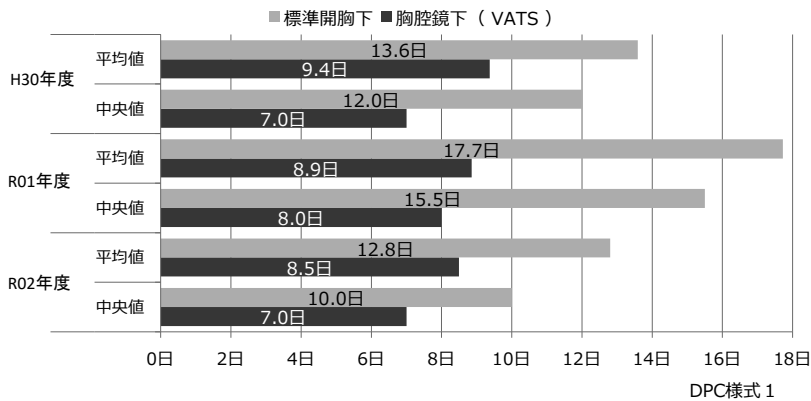
肺がん手術件数



◆対象とする手術

- ・肺悪性腫瘍手術
 - ・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術
- (※ 原発性肺がんに限る)

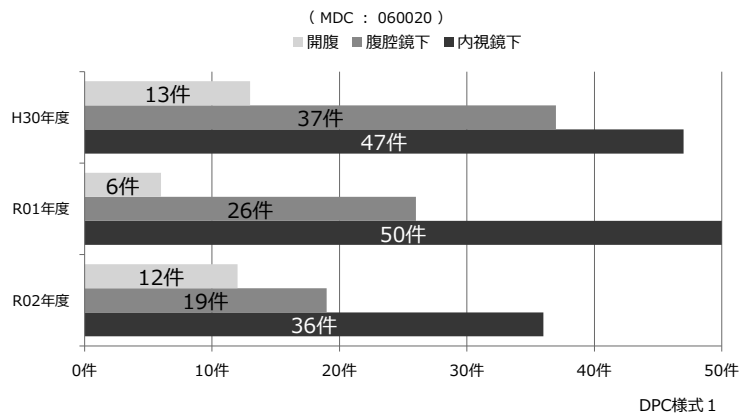
肺がん手術 術後平均在院日数



◆計算方法

分子：対象症例の術後在院日数の総和
分母：対象症例数

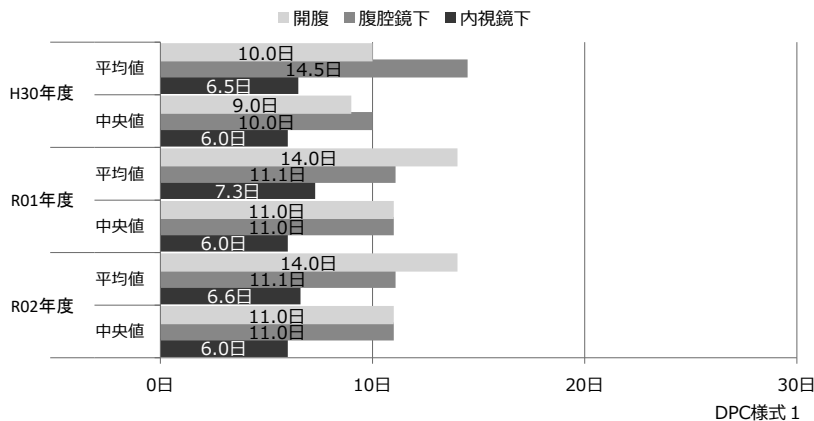
胃がん手術件数 (内視鏡下・腹腔鏡下・開腹)



◆対象とする手術

- ・胃切除術 (悪性腫瘍手術)
- ・胃切除術 (単純切除術)
- ・胃全摘術 (悪性腫瘍手術)
- ・噴門側胃切除術 (悪性腫瘍手術)
- ・腹腔鏡下胃腸吻合術
- ・腹腔鏡下胃切除術 (悪性腫瘍手術)
- ・腹腔鏡下胃全摘術 (悪性腫瘍手術)
- ・腹腔鏡下噴門側胃切除術 (悪性腫瘍手術)
- ・内視鏡的胃,十二指腸ポリープ・粘膜切除術 (早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術)

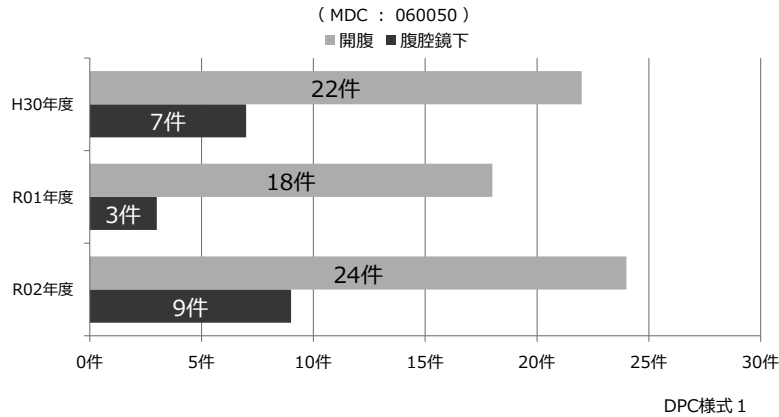
胃がん手術 (内視鏡下・腹腔鏡下・開腹) 術後平均在院日数



◆計算方法

分子：対象症例の術後在院日数の総和
分母：対象症例数

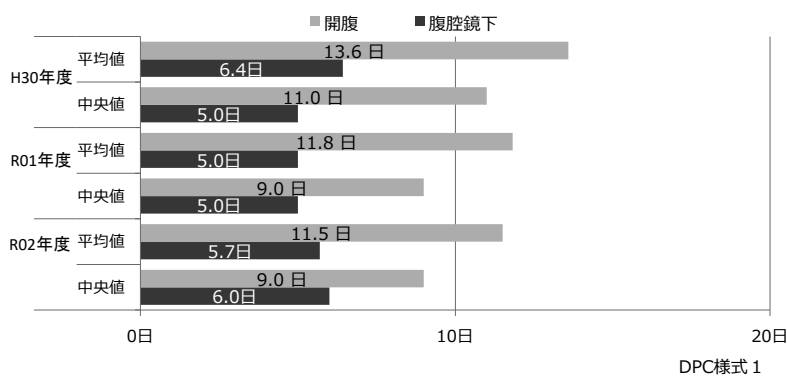
肝がん手術件数（開腹・腹腔鏡下）



◆対象とする手術

- ・肝切除術
- ・腹腔鏡下肝切除術

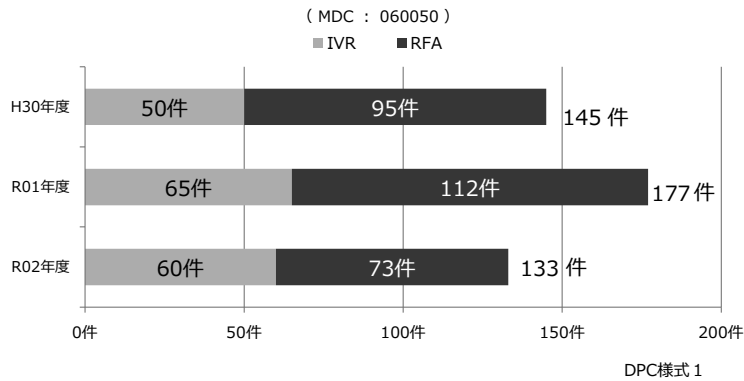
肝がん手術（開腹・腹腔鏡下）術後平均在院日数



◆計算方法

分子：対象症例の術後在院日数の総和
分母：対象症例数

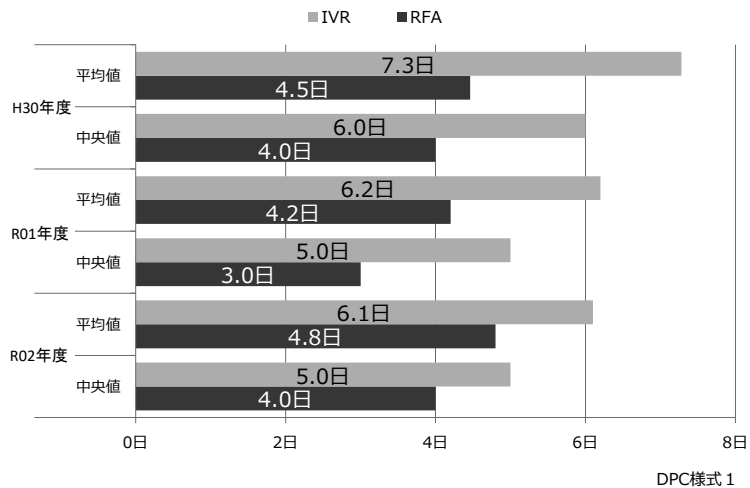
肝がん手術件数（IVR・RFA）



◆対象とする手術

- ・IVR (TACE等)：血栓塞栓術（選択的動脈化学塞栓術）
- ・RFA：肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法

肝がん手術（IVR・RFA）術後平均在院日数

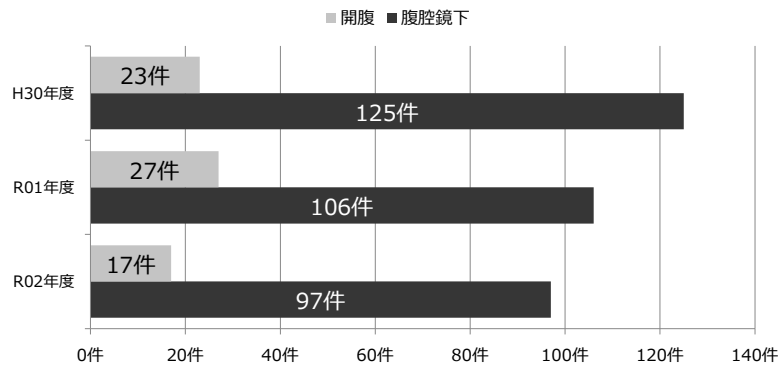


◆計算方法

分子：対象症例の術後在院日数の総和
分母：対象症例数

大腸がん手術件数

(MDC : 060035・060040)

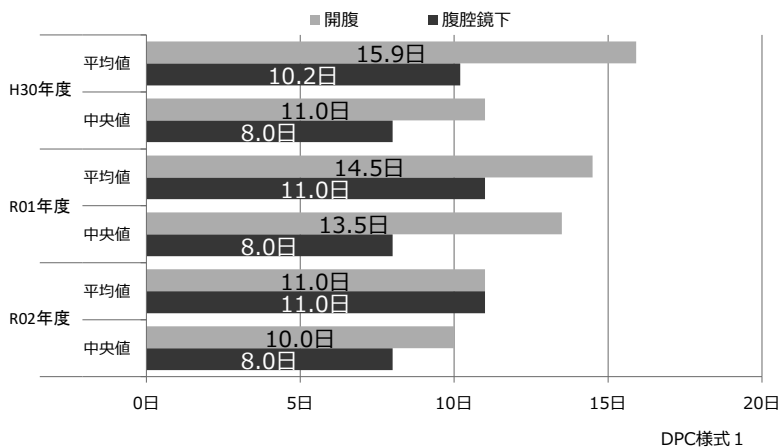


◆対象とする手術

- ・結腸切除術（全切除・亜全切除又は悪性腫瘍手術）
- ・直腸切除・切断術
- ・腹腔鏡下結腸切除術
- ・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術
- ・腹腔鏡下直腸切除・切断術

※内科的（内視鏡下）の手術は含まない

大腸がん手術 術後平均在院日数

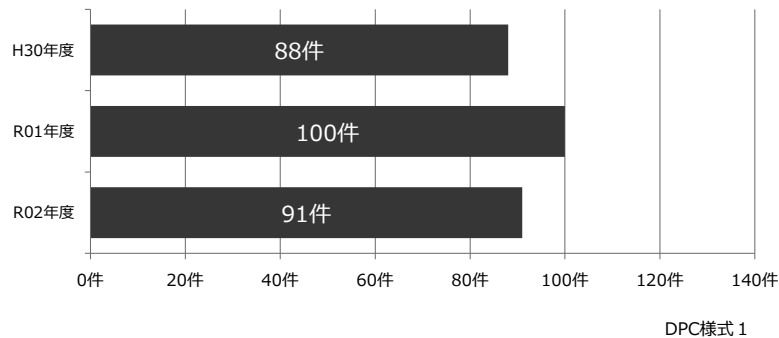


◆計算方法

分子：対象症例の術後在院日数の総和
分母：対象症例数

乳がん手術件数

(MDC : 090010)

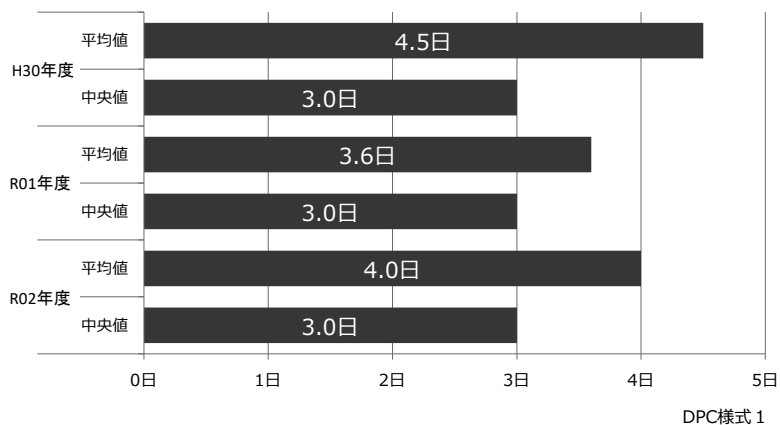


◆対象とする手術

- ・乳腺悪性腫瘍手術

※乳房再建手術は含まない

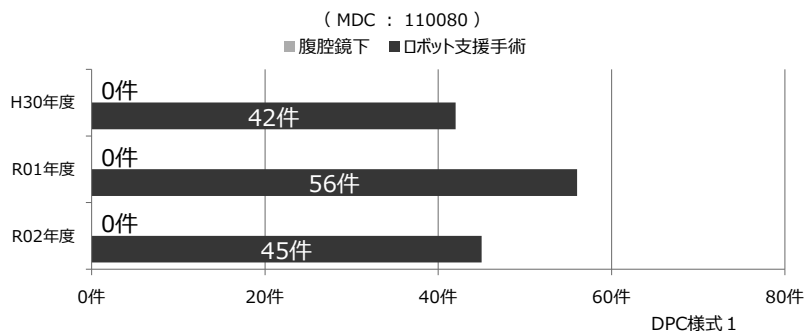
乳がん手術 術後平均在院日数



◆計算方法

分子：対象症例の術後在院日数の総和
分母：対象症例数

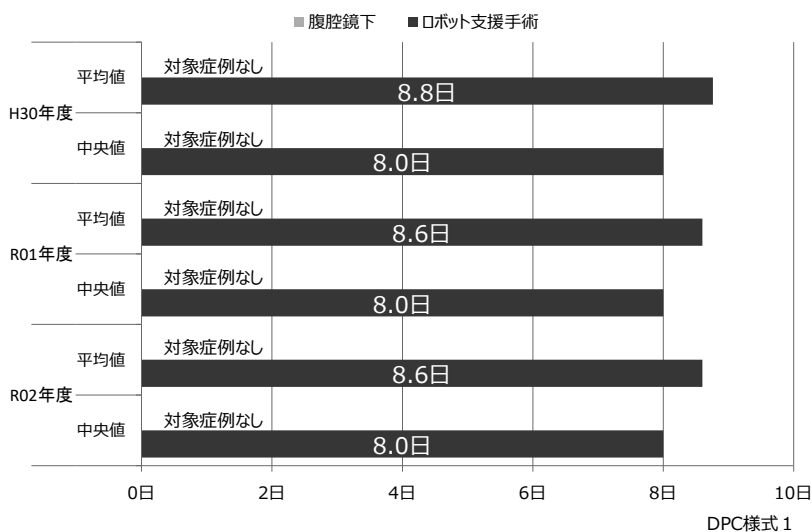
前立腺がん手術件数（腹腔鏡下・ロボット支援手術）



◆対象とする手術

- ・前立腺悪性腫瘍手術
- ・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術

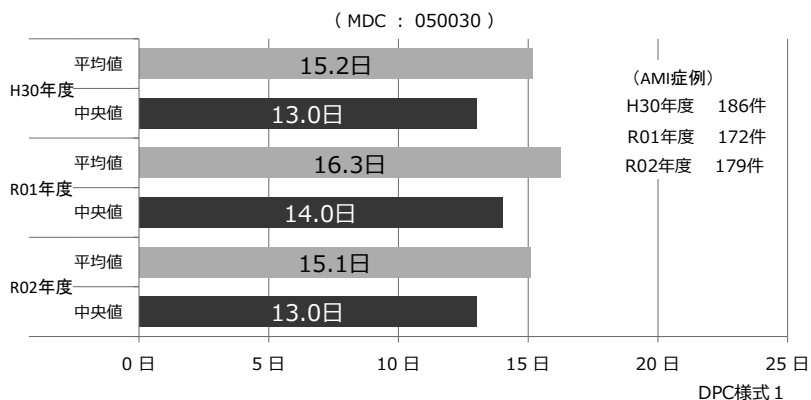
前立腺がん手術 術後平均在院日数



◆計算方法

分子：対象症例の術後在院日数の総和
分母：対象症例数

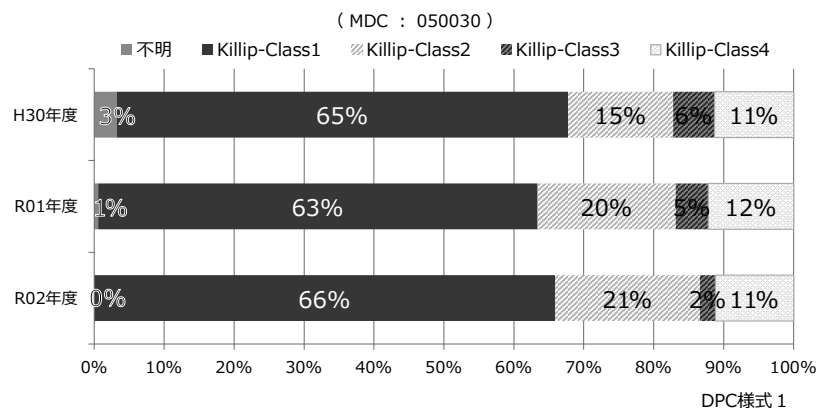
急性心筋梗塞（AMI）平均在院日数



◆計算方法

分子：AMI症例在院日数の総和
分母：AMI症例数

AMIにおける入院時の重症度



◆計算方法

分子：「Killip分類」重症度分類別AMI症例数
分母：AMI症例数

[参考] 様式 1 「Killip分類」

不明：分類不明

Killip-Class 1 : 心不全の兆候なし

Killip-Class 2 : 軽症～中等の心不全（肺ラ音、3音、静脈圧上昇）

Killip-Class 3 : 重症心不全、肺水腫

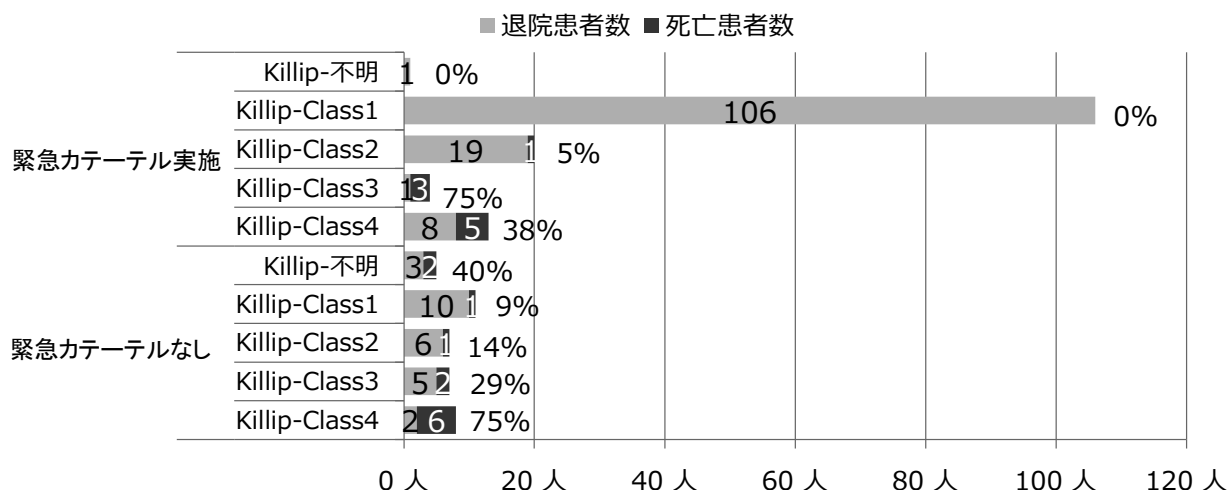
Killip-Class 4 : 心原性ショック（収縮期血圧<90mmHg、末梢循環不全）

急性心筋梗塞（AMI） 緊急カテーテル実施率

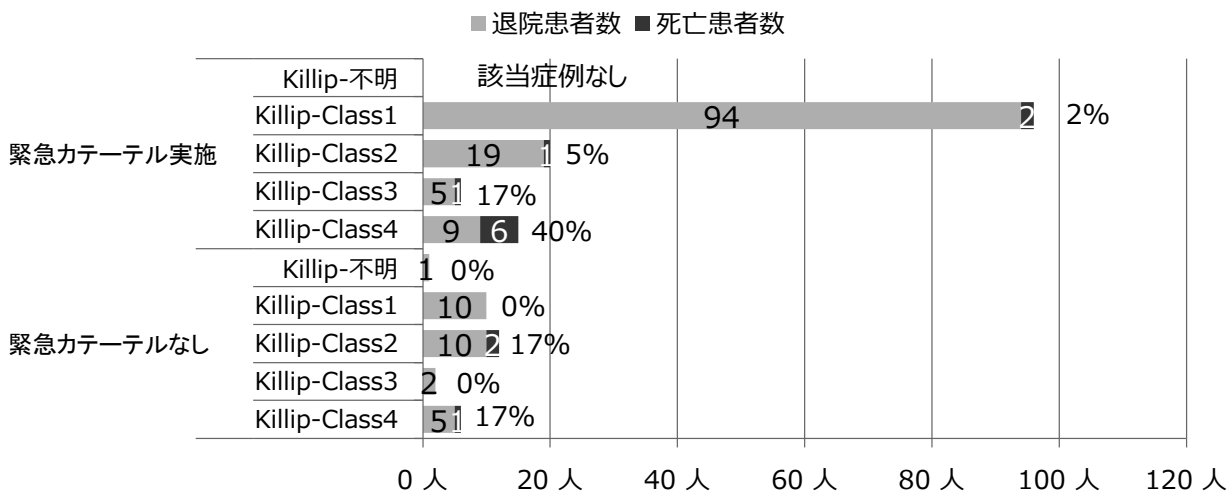


◆計算方法 分子： 緊急カテーテルを実施した患者数
 分母： AMI緊急入院症例数（ MDC6： 050030 ）

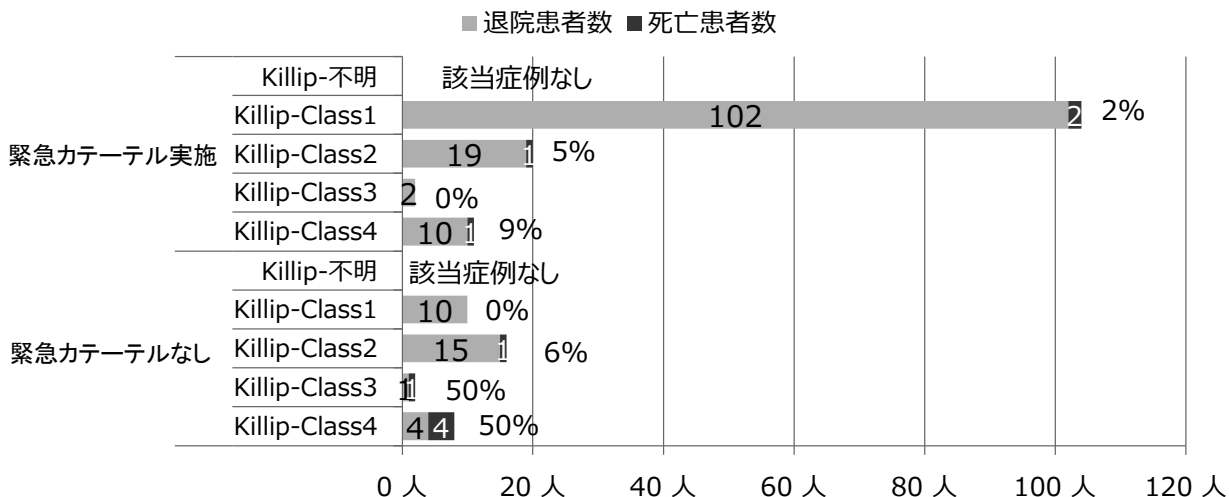
H30年度 緊急カテーテル（AMI）実施における死亡率



R01年度 緊急カテーテル（AMI）実施における死亡率

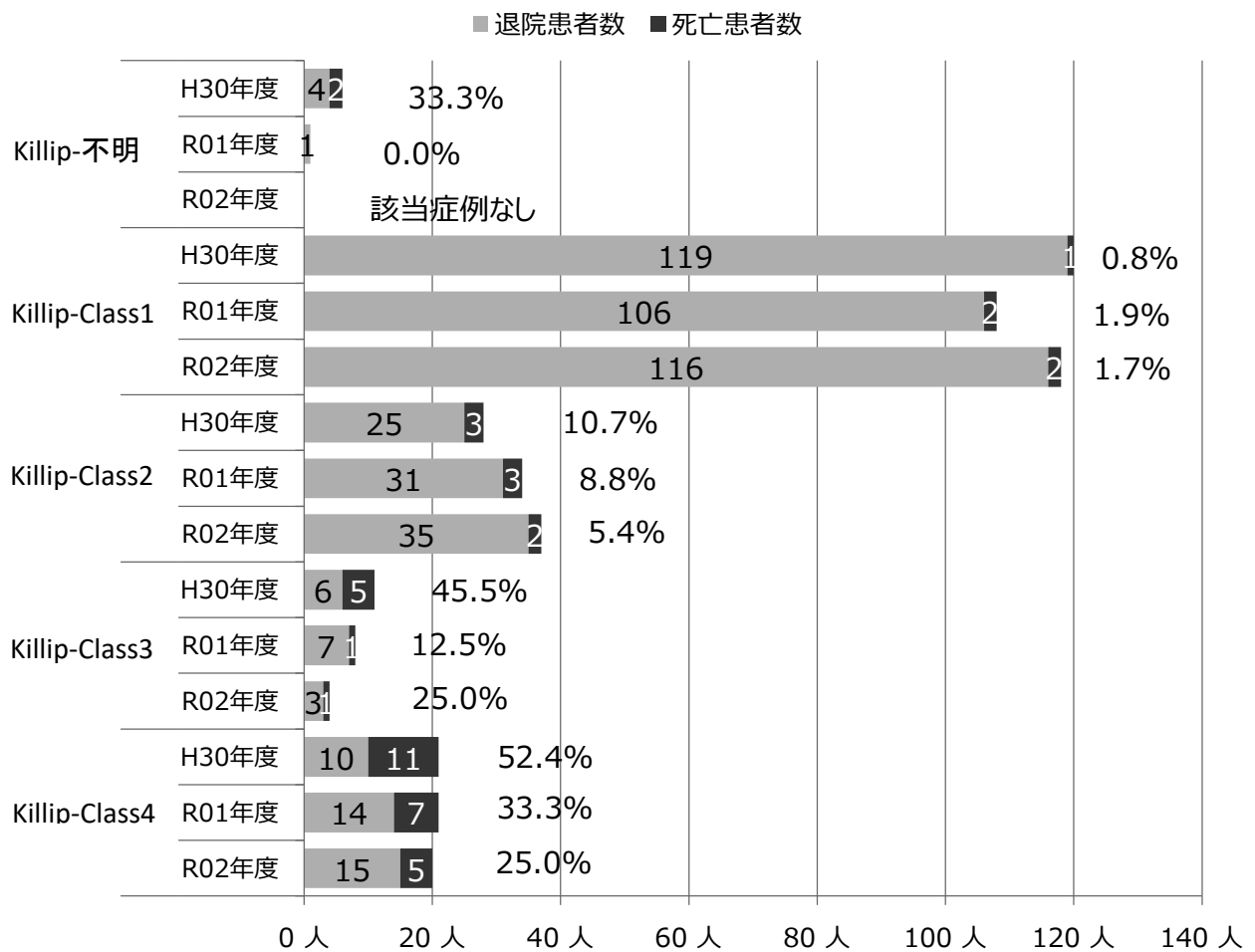


R02年度 緊急カテーテル（AMI）実施における死亡率



◆ 計算方法 [緊急カテーテル実施] 分子 : 死亡患者数 分母 : 緊急カテーテル実施症例数
 [緊急カテーテル実施なし] 分子 : 死亡患者数 分母 : 緊急カテーテル実施なし症例数

AMIにおけるKillip別死亡率



◆ 計算方法 分子 : 死亡患者数 分母 : AMI症例数 (MDC6 : 050030)

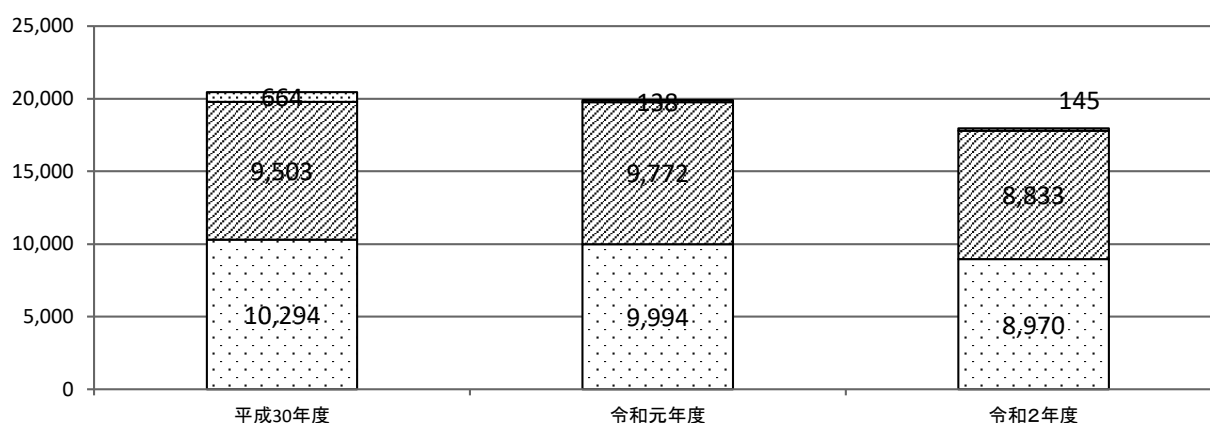
②EzE2ネットの静岡病院における運用実績

1 送信実績

	戻し紹介・逆紹介	返 書	その他	計
平成30年度	10,294	9,503	664	20,461
令和元年度	9,994	9,772	138	19,904
令和2年度	8,970	8,833	145	17,948

1 送信実績 EzE2ネット

□ 戻し紹介・逆紹介 ▨ 返書 ▩ その他

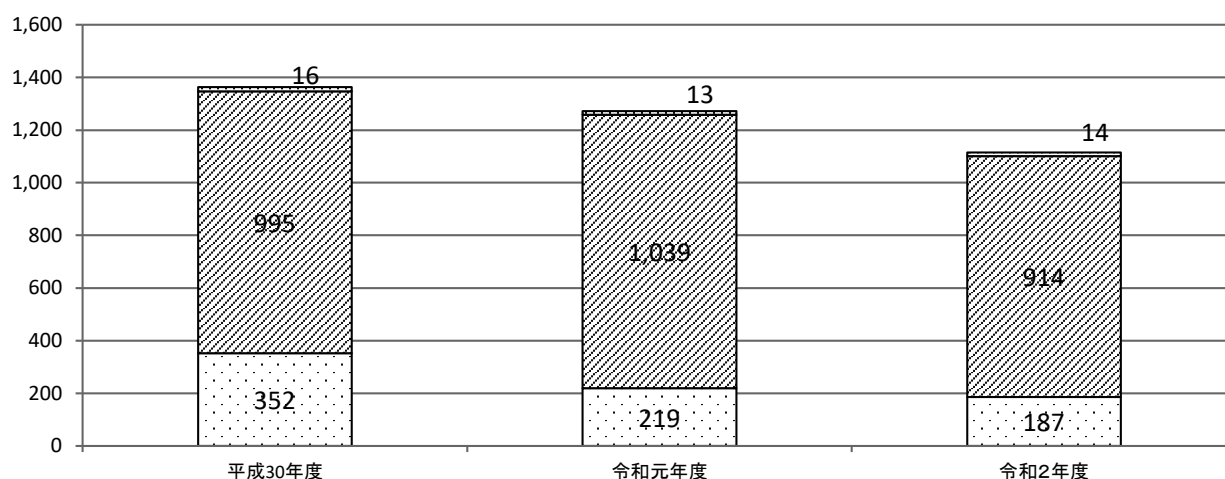


2 受信実績

	紹介状	返 書	その他	計
平成30年度	352	995	16	1,363
令和元年度	219	1,039	13	1,271
令和2年度	187	914	14	1,115

2 受信実績 EzE2ネット

□ 紹介状 ▨ 返書 ▩ その他



施設の概要

施設概要

東 館 (平成20年 7 月完成)

構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造、免震構造
階 数 地下 1 階、地上13階建て (13階は、機械室) 地上高さ約58m
床 面 積 23,593.53㎡

西 館 (平成元年 3 月完成 平成21年度外来・病棟部門等改修工事完了)

構 造 鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄筋コンクリート造、耐震構造
階 数 地下 1 階、地上13階建て (13階は、機械室) 地上高さ約58m
床 面 積 24,613.66㎡

駐車場 (平成22年 2 月完成)

構造・階数 旧東館の構造体を利用した 5 層 6 段の自走式立体駐車場
床 面 積 7,992.33㎡ (225台収容)

北 館 (昭和35年完成 平成19年 3 月耐震改修工事完了)

院内保育所 (つぼみ保育園)、事務所等で使用

構 造 鉄筋コンクリート造
階 数 地下 1 階、地上 4 階建て
床 面 積 1,728.45 ㎡

位置図



病院構成図

病院の構成

